

平成 29 年度事業・活動報告

特定非営利活動法人 旭川 NPO サポートセンター

【事業の成果】

平成 29 年度は、旭川市市民活動交流センター指定管理第 2 期目の 3 年目となりました。ご利用いただく市民の皆様が気持ちよくご利用できるよう、ご意見などを反映して、施設の備品や設備の充実に努めました。一方施設の経年劣化により、修繕の必要な個所が多くなってきています。

例年通り、市民活動スキルアップのための広報セミナーの開催や、婚活支援の事業も助成金により実施することができました。市民の要望に答える形で、「樹木葬という選択」の講座を開催してきました。

昨年度に引き続き、砂川市で地域力UP講座の全 5 回を開催しました。4、50 代未婚者の要望を受けて、「おひとり様びあふらざ」も平日の夜に企画実施し、土日に開催される出逢いのパーティなどに参加できない未婚男女にとっての出会いの場となっています。

例年同様、北海道 NPO サポートセンターや北海道環境財団など他団体との連携により、「市民活動促進講座」や「突哨山で一日森人になろう」などの事業を展開することができました。

■事業名 (旭川市指定管理事業)

旭川市市民活動交流センター指定管理業務

【目的】

旭川市市民活動交流センターCoCoDe に関して、

- 1) 施設の使用承認／管理運営／維持管理
- 2) 市民活動団体の登録
- 3) 市民活動に関する情報収集・提供／相談・コーディネート／学習機会の提供／交流及び協働の促進
- 4) その他自主事業等

【事業期間】

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター



キッズワールド 2017

【事業内容・事業成果・課題等】

1)施設の使用承認／管理運営／維持管理について

① 利用件数 4,299 件、利用者数 72,568 名、利用料金 8,248,806 円。

(前年度 利用件数 4,159 件、利用者数 73,366 名、利用料金 8,174,340 円)。

② 施設清掃業務、施設敷地内管理業務、点検等その他業務について所定通り実施。

2) 市民活動団体の登録について

① 市民活動情報サイト登録 278 件 (前年度 249 件)

② 市民活動交流センター登録 (団体) 399 件 (前年度 352 件)

③ 市民活動交流センター登録 (個人) 1 件 (前年度 1 件)

3) 市民活動に関する情報収集・提供

- ① CoCoDe 通信の発行～毎月 900 部～1,000 部
- ② 利用者ニーズ把握のため、5 月と 10 月に指定管理者と利用者を代表する 6 名及びオブザーバーとして市担当課 2 名による利用者懇談会を実施。
- ③ また、9 月に「旭川市市民活動交流センター CoCoDe の利用に関するアンケート」報告書を公開した（以下、抜粋）。

※配布数：260、回答数：117、回収率：45%

選択肢	大いに満足	満足	不満	極めて不満	未記入	合計
1 利用申込の容易さ	48 (41.0%)	62 (53.0%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	5 (4.3%)	117 (100.0%)
2 インターネット予約システムの利用しやすさ	26 (22.2%)	48 (41.0%)	5 (4.3%)	1 (0.9%)	37 (31.6%)	117 (100.0%)
3 職員の対応の親切さ・説明の分かりやすさ	81 (69.2%)	32 (27.4%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	4 (3.4%)	117 (100.0%)
4 図書コーナーにある情報ラックの分かりやすさ	17 (14.5%)	63 (53.8%)	5 (4.3%)	0 (0.0%)	32 (27.4%)	117 (100.0%)
5 施設の清潔さ	64 (54.7%)	48 (41.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	5 (4.3%)	117 (100.0%)
6 施設(会議室・ホール・トイレなど)の利用しやすさ	50 (42.7%)	53 (45.3%)	7 (6.0%)	0 (0.0%)	7 (6.0%)	117 (100.0%)
7 機器・備品等の利用しやすさ	43 (36.8%)	61 (52.1%)	3 (2.6%)	0 (0.0%)	10 (8.5%)	117 (100.0%)
8 備品や設備の充実度	39 (33.3%)	65 (55.6%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	11 (9.4%)	117 (100.0%)
9 利用料金について	51 (43.6%)	53 (45.3%)	8 (6.8%)	0 (0.0%)	5 (4.3%)	117 (100.0%)
10 駐車場の利用しやすさ	41 (35.0%)	58 (49.6%)	15 (12.8%)	1 (0.9%)	2 (1.7%)	117 (100.0%)
11 施設を利用できる時間帯(1時間単位)について	40 (34.2%)	64 (54.7%)	4 (3.4%)	1 (0.9%)	8 (6.8%)	117 (100.0%)
12 施設を利用した全般的な満足度	52 (44.4%)	58 (49.6%)	2 (1.7%)	0 (0.0%)	5 (4.3%)	117 (100.0%)

4) 相談・コーディネート

- ① 日常の相談・コーディネート～NPO 設立運営相談等。
相談総数 113 件。(内訳：個人 19 件、市民活動団体 88 件、企業 6 件)。(前年度 106 件)
- ② NPO 会計・総会運営個別相談 3/25 実施 参加 10 名
税理士の佐藤はるみ先生を迎え、日常の会計業務で困ったことについての個別相談会を開いた。4 団体が参加した。

5) 学習機会の提供について

- ① NPO 会計セミナー 8/31 実施 参加 7 名
NPO の会計基礎と会計ソフトを使った会計処理について、NPO 法人の会計担当者を対象にセミナーを開催。仕分けから PC での入力まで、日々の会計業務に役立つ知識を伝授した。
- ② NPO による多様な被災者支援を考える意見交換会「災害時に NPO ができること」
9/15 実施 参加 18 名
Wellbe Design の篠原辰二氏を講師に迎え、災害時における NPO 等市民セクターが行なう支援活動の展開について、全国的な事例を紹介していただいた。また、災害時に組織の特性を生かした NPO の役割について、行政・ボランティアなどの連携について、意見

交換会を行なった。

③ **踏みだす！生活×防災×未来～東日本大震災を経験した若者の語りを通して考える旭川 9/16 実施 参加 30 名**

被災経験のあるプロジェクト M 代表の三浦貴裕氏を迎え、被災時の実情や東北大震災の現状をお話しいただいた。第 2 部では女性と障がい者の防災についてのトークセッション、第 3 部では防災士の及川太美夫氏を迎えてのグループワークショップを実施。防災意識を高め、いざというときに備えることの大切さを実感した。

④ **防災ウォーク「防災の視点で街を発見しよう！」 10/8 実施 参加 11 名**

CoCoDe を出発地として大正橋まで河川に沿ってウォーキングした。護岸や橋梁、樋門、水路等、災害時の働きについて学んだ。

⑤ **採択される企画書とプレゼンテーションのコツ！ 10/21 実施 参加 25 名**

株式会社 TRYOUT 代表取締役 中村領氏による、プレゼンテーション資料作成のコツや注意すべき点の講演。更にうれしければ保育サービス（株）鶴間雅之氏に実際に採択されたプレゼンを実演していただき、プレゼン本番での流れやアピール方法を学んだ。

⑥ **終活セミナー「樹木葬という選択」 12/9 実施 参加 44 名**

北海道大学准教授の上田裕文さんをお呼びして、墓地への納骨以外の選択肢として環境配慮型で負担の少ない樹木葬についてお話しいただきました。普及と課題、そして海外の事例など興味深い内容で、参加した方々も積極的に拝聴していた。

⑦ **広報のコツと情報サイトのセミナー 2/23 実施 参加 11 名**

NPO 法人と市民団体を対象に、広報の基礎と情報サイトの使い方について説明。自団体のアピールポイントを振り返り、チラシを作る際の注意点やコツについて学んだあと、実際にサイトを使いながら団体の情報発信に挑戦。情報サイト登録後の活用を促した。

6) **交流及び協働の促進について**

① **北彩都ごみゼロ大作戦 4/23 実施 参加 113 名**

北彩都地域を職場に持つ行政、NPO 団体、民間企業と周辺町内会の 20 団体、113 名で実施。36.5kg のゴミが収集された。本事業を通して地域交流が促進された。

② **CoCoDe キッズワールド 2017 5/5 実施 参加 1,400 名**

今年で第 6 回目となったキッズワールド。市民活動団体や NPO が“市民の力で、子どもたちが遊べる・学べる・楽しめる空間を創ろう！”という開催趣旨のもと、子どもたちが安心して楽しめる体験(工作・演劇など)、学び・交流の場を提供した。

③ **秋の CoCoDe まつり 11/3 実施 参加 1,120 名**

毎年恒例の CoCoDe の秋のイベント。日頃、当センターを利用している市民活動団体や NPO 団体等が、ステージ・ブースで活動の成果を発表いたしました。ダンスやフリーマーケット・作品展示など幅広いジャンルが一堂に会し、盛りだくさんの 1 日となった。

④ **クリスマスマーケット&ミュージックフェスタ 12/16 実施 参加 720 名**

毎年恒例のクリスマスイベント。市内外で活動している手作り小物の作家が出展して雑貨を販売したほか、パン 6 店によるパンマルシェ、7 団体が出演したステージイベント、屋外のアイスクャンドル点灯などひと足はやいクリスマス気分を楽しめる 1 日となった。

⑤ **新年交流会 1/20 実施 参加 47 名**

昨年に続き団体や個人、企業など異業種・異世代が交流する場として開催しました。オー

プニングアクトは永山獅子舞の皆さんが務め、懇親会では異業種異世代間交流が盛んに行われ大変好評でした。各団体の PR は、日頃知らない活動がわかる良い機会となった。

⑥ 雪あかり 2/3～2/4、2/7～2/12 実施 参加 280 名

市民手づくりのあさひかわ雪あかり。今年も旭川の冬を幻想的に雪あかりで心暖まるイベントとなった。

⑦ CoCoDe トークサロン 毎月 1 回 参加 186 名

毎月様々なテーマでゲストを迎え、参加者と交流する場として開催。

7) 自主事業等について

① 超婚活セミナー 7/17 実施 参加 35 名

北海道医療大学看護福祉学部 長谷川聡准教授を招き、人間関係におけるマナーや交流の仕方についてのセミナーを開催。働いている 25 歳～45 歳の独身者を対象に立食でランチを味わいながら、異性間・同性間で新たな出会いを育む機会を提供した。

② 親コン交流会 9/23 実施 参加 32 名

親の参加者による交流会を開催。未婚の子を持つ親御さんへのエールと、未婚者本人へのアドバイスなどをいただいた。交流会では、身上書の交換や連絡先の交換を行なう姿も見られた。

③ おひとりさま ぴあぶらざ 12/15 実施 参加 16 名、3/29 実施 参加 15 名

40 代・50 代の未婚の男女を 6 名程度ずつ集め、交流会を開催しました。簡単なゲームなどで大いに盛り上がっていました。平日の夜に開催するのが、参加しやすいとのうれしい声もありました。

■事業名 (旭川市及び周辺 7 町委託事業)

ファミリーサポートセンター・上川中部子ども緊急サポートネットワーク事業



■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

旭川市より受託したファミリーサポートセンター「育児型」は子育ての援助を受けたい方と援助を行いたい方が会員になり、お互いに地域の中で助け合いながら子育てをする会員制の相互援助活動を行う。また 1 市 7 町から受託した「上川中部子ども緊急さぼねっと」は宿泊を含め、臨時的・突発的なニーズに、予め登録している地域の方が子どもを預かる事業で、子どもを預かって欲しい人との橋渡しを行うことにより、地域の子育て支援・児童の福祉の向上を図る。



【事業期間】

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

◎ファミリーサポートセンター「育児型」

1) 会員の募集、登録業務

2) ハローワーク、保育所、学童保育施設等に周知広報

事業説明会 ①H30年1月27日(土)9:30~12:00 北星地区センター 参加者 3組

②H30年2月3日(土)9:30~12:00 市民活動交流センターCoCoDe 参加者 8組

3) 提供会員登録時の子育て支援者養成講座年2回実施(上川中部こども緊急さぼねっと合同)

日 程: 前期 5月23日.25日 ・ 後期 10月18日.19日

講座数: 6講座、9時間

参加者: 前期 35名 ・ 後期 13名

4) 依頼会員と提供会員の事前打ち合わせの調整

5) 依頼時の相互援助の連絡調整

6) 会員の交流を深め、情報交換の場を提供するための意見交流会実施

「わらべうたであそぼう」

日 時: H29年10月5日(木) 10:00~11:30

場 所: 旭川市市民活動交流センターCoCoDe

講 師: 富士原 規子氏(ファミリーサポートセンター提供会員)

参加者: 29名

7) 関係機関等との情報交換、連携を図るための会議

8) サブリーダーの情報交換を行うサブリーダー会議実施

29年度は旭川地区を5ブロックに分けてあるが、送迎の支援依頼も多く、もう少しきめ細やかな支援と提供会員の動向確認も含め、平成30年度から9ブロックに地域編成を変更予定。サブリーダーも増員予定のため地域調査を開始し、提供会員の交流もかねて各地域で事業説明会を開催した。

9) 提供会員のレベルアップ講習会実施(「上川中部こども緊急さぼねっと」合同研修会)

「旭川市子育て支援部長との意見交換会」と「カーリンコンで交流会」

日 時: H29年11月15日(水) 10:00~12:30

場 所: 旭川市市民活動交流センターCoCoDe

旭川カーリンコン協会の指導のもとゲームで交流

参加者: 36名

10) 月毎に市へ報告及び助成請求

11) 年1回通信発行

【事業成果・課題】

1) 会員数 依頼会員 1,148名

提供会員 194名

両方会員 84名

総会員数 1,426名

2) 依頼総件数 4,553件 (キャンセル 37件)

援助総件数 4,516件 (H28年度 3,739件)

① 保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り 1,378件

② 保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり 1,657件

③ 保育所・幼稚園の帰宅後の預かり 27件

④ 学童の放課後の預かり	17 件
⑤ 学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	243 件
⑥ 学童保育から帰宅後の預かり	6 件
⑦ 子供の病気時の援助	0 件
⑧ 子供の習い事等の場合の援助	668 件
⑨ 保育所・学校等の休み時の援助	108 件
⑩ 保護者等の外出の場合の援助	58 件
⑪ 保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	4 件
⑫ 保護者等の他の子どもの学校行事の場合の援助	13 件
⑬ 保護者等の求職活動中の援助	10 件
⑭ 保護者等の病気、その他急用の場合の援助	13 件
⑮ その他	314 件

◎上川中部子ども緊急さぼねっと

【事業内容】

1) 利用会員拡大のため、1市7町及びハローワーク、保育所、学童保育施設等に周知広報

①出張事業説明会

i H30年1月27日(土)9:30~12:00 北星地区センター 参加者 3組

ii H30年2月3日(土)9:30~12:00 市民活動交流センターCoCoDe 参加者 8組

②旭川市事業「うぶごえの贈りもの」で出産祝いとして絵本のプレゼントがある。絵本配布時ファミリーサポートセンターのパンフレットも一緒に配布

2) スタッフ会員登録のための子育て支援者養成講座年回実施

日 程：前期 5月23,25,26,30,6/1,2日

後期 10月18,19,20,26,27,30日

講座数：13講座、28時間

参加者：前期 5月 35名 ・ 後期 10月 13名

3) スタッフ会員に対して年2回レベルアップ講習会実施

①日 時：9月29日(金)10:00~12:30

場 所：旭川市市民活動交流センターCoCoDe

テーマ：「手づくりおもちゃ」

てぶくろシアターとパクパクかばさんの歯みがき作成

講 師：子育て支援センター「こまどりつ〜ながれ」

加納先生・武田先生

参加者：17名

②「ファミリーサポートセンター」と合同研修

「旭川市子育て支援部長との意見交換会」と「カーリンコンで交流会」

日 時；H29年11月15日(水)10:00~12:30

場 所：旭川市市民活動交流センターCoCoDe

旭川カーリンコン協会の指導のもとゲームで交流

参加者：36名

4) 利用会員入会手続及びスタッフ会員更新手続業務

- 5) 依頼時の利用会員とスタッフ会員の連絡調
- 6) 関係機関等との情報交換、連携を図るための会議
- 7) 月毎に市へ報告及び助成申請
- 8) 年1回さぼねっと通信「育輪（いくわ）」発行
- 9) スタッフ交流会（東神楽町5月18日開催）
- 10) 月1回「すりーAの会」実施（開催日不定）
 開催：7回（研修会、意見交流会等）
 参加者：延98名

【事業成果・課題等】

- 1) 会員数

利用会員	1,231名
スタッフ会員	168名
<u>総会員数</u>	<u>1,399名</u>
- 2) 依頼総件数 1,812件

コーディネート件数	1,602件	（前年度 1,297件）
病気預かり	411件	
宿泊	12件	
元気預かり	1,104件	
送迎	75件	
キャンセル	210件	（コーディネート後当日又は翌朝に連絡のあったもの）

ファミリーサポートセンター「育児型」援助総数は前年度に比べて20%以上の増加がみられた。これは旭川市の子育て全世帯で5割、非課税世帯とひとり親世帯には8割の助成制度があり、制度が市民に浸透していったと推測できる。一方で保育園、幼稚園の送迎はもとより、おけいこ事や塾通いなど、自家用車での送迎依頼が増え、気軽にタクシー代わりに利用されているのではと疑問視する。事務局は提供会員から拒否されることもありマッチングの難しさに直面している。29年度は提供会員の不安や疑問について市にも知ってもらいたいと、旭川市子育て支援部の品川部長に出席してもらい意見交換会を開催した。提供会員やスタッフが相互援助活動の日々の奮闘について伝えた。リスクを伴う車での送迎は非常に気を使いながら支援しているという現状を伝え、子どもタクシーの様な送迎システムがあるのが理想ではないかと伝えた。市は貴重な意見として持ち帰っていった。

上川中部こども緊急さぼねっとの利用は昨年度より24%増加している。旭川市は助成の枠を全世帯（ひとり親世帯8割、その他世帯5割）に広げたために利用しやすくなった。しかし、これらの事業はまだ認知度が低く周知活動に力を注ぐ必要があり、本年度は北星地区と中央地区の2カ所で事業説明会を開催した。両日とも土曜日の開催であったため、平日事務所に来所できない方々には有効であったとおもわれる。今後も開催して、子育て世代にお守りがわりとして登録を促していきたい。

H29年子育て支援者養成講座プログラム

子育て支援とは	旭川市子育て支援部子育て相談課	
身体の発育と病気	北海道療育園園長	林 時仲 氏
心の発達とその問題	旭川赤十字病院第1小児科部長	諏訪 清隆 氏
病児・病後児保育の基礎	道立旭川高等看護学院地域看護学科	青野 美千代氏

病児・病後児保育の基礎	保健師	上出 千枝 氏
保育の心	末広こまどり保育園園長	山下 真実 氏
子どもの遊び	北海道子育て支援ワーカーズ	木場 いずみ氏
子どもの遊び	北海道子育て支援ワーカーズ	木場 いずみ氏
子どもの世話	旭川市立神楽保育所所長	武田 治恵 氏
子どもの栄養と食生活	管理栄養士	幸正 直子 氏
子どもの安全と事故	日本赤十字社幼児安全法指導員	田中 久子 氏
事業概要	旭川NPOサポートセンター	
望まれている支援のあり方	旭川NPOサポートセンター	

■事業名 (旭川市委託事業)
旭川市母子家庭等日常生活支援事業

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

様々な事由により、一時的に日常生活に支障が生じている場合や生活環境等の激変により、日常生活を営むのに特に大きな支障が生じている場合に、その生活を支援する者を派遣するなどして、母子家庭及び父子家庭の生活の安定を図ることを目的としている。

【事業期間】

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

【事業内容】

- 1) 依頼時の利用者と家庭生活支援員の生活援助及び子育て支援の連絡調整実施
- 2) 関係機関との情報交換、連携を図るための会議実施
- 3) 月毎に市へ報告及び利用料の申請実施
- 4) 家庭生活支援員資格者の手続き実施

【事業成果・課題】

① 利用者数

利用会員登録	16 名
家庭生活支援員	19 名
子育て支援員	34 名

② 利用状況	111 件	(前年度 359 件)
生活支援	88 件	(前年度 264 件)
子育て支援	23 件	(前年度 85 件)
宿泊	0 件	(前年度 10 件)

例年ひとり親の依頼には緩やかに対応でき利用数も多かったが、市から緊急性を要する案件を中心的に支援して欲しいとの指導が入り、依頼時には状況、事情の把握を問われ、利用期間も 2～3 か月が限度となり、やや利用しにくい状況になってきている。利用者側からは、今まで通り柔軟に対応、援助してほしいとの要望がある旨を行政に伝えたが、対応に変化はない。

■事業名 (旭川市委託事業)

子育て交流活動推進事業実施業務

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

子育ては親だけでなく、地域社会全体の支えが大切ということから、子育てに関する、様々な関係機関や団体などが連携して、保育所や、幼稚園に通っていない児童を家庭において養育している全ての保護者がいつでも子育てについて相談でき、また、保護者同士や子育て経験者等と交流できる環境づくりを行う。

旭川市内には子育て中の親が自主的に活動する育児サークルや、地域住民で子育てを支援する子育てサロンがあり、そうした団体に対して、活動の際の会場費の補助を行う。また子育て支援を望む団体・個人が人材バンクに登録し、育児サークルや子育てサロンに託児や、特技等でサポートを行う際の、コーディネートを行い、子育て環境の充実に寄与する。

【事業期間】平成 29 年 4 月 1 日～30 年 3 月 31 日

【事業内容・事業成果】

1) 登録している育児サークルに対する支援を地域子育て支援センターと連携して行う。

会場費補助 236 件、 139,240 円

2) 育児サークル合同イベント（わんぱくフェスティバル）の実施。

日 程 H29 年 8 月 24 日（金） 10:00～11:30

会 場 旭川市市民活動交流センター CoCoDe

参加者 子ども 128 名 大人 113 名

3) 育児サークルへの支援員の派遣

派遣数 31 件

派遣者数 85 名

4) 育児サークル事業説明会の実施 2 回

会 場 旭川市市民活動交流センター CoCoDe

日 程 ① H29 年 5 月 16 日（火） 10:00～12:00 12 名

② H29 年 11 月 6 日（月） 10:00～12:00 12 名

5) 子育てサロンへの支援

会場費補助 71 件、 83,600 円

派遣数 2 件

派遣者数 5 名

6) 子育てサロン意見交換会の実施 2 回

会 場 旭川市市民活動交流センター CoCoDe

日 程 ① H29 年 5 月 10 日（水） 10:00～11:30 16 名

② H30 年 2 月 19 日（月） 10:00～11:30 14 名

7) その他の支援

子育て支援センター、児童センター、留守家庭児童会、市立保育所、保健所等

派遣数 95 件

派遣者数 240名

8) 子育て人材バンクの登録 105名

9) 育児サークル・子育てサロンの支援に関するニーズ調査及び分析

サークルは保育園や満3歳で幼稚園入園可能なこともあり、会員不足で解散、休会が出はじめている。子育て中の親にとって、現にあるサークル活動が魅力あるものとなる様、子育て支援センターの先生方の協力を得ながら支援をしていく。また、子育てサロン等も運営費不足などの現状もあるので、より一層旭川市から補助を得られるよう支援を推し量りながら継続につなげていきたい。

事業名 (社団法人北海道医師会)

北海道に在住する医師を対象とした緊急時保育支援事業

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

子育て中の医師の仕事と家庭を両立させるためのサポートで、利用者が緊急に支援を必要とするとき、北海道医師会が利用者に代わって旭川 NPO サポートセンターに依頼するもので、女性医師等の働く環境を整えることによりキャリアの継続に寄与することを目的とする。

【事業期間】平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日

【事業内容・事業成果】

1) 事業内容は上川中部こども緊急さぽねっとに準ずる。

登録医師 19名

利用者数 6名

利用件数 53件

2) 登録にあたっては、ファミリーサポートセンターの登録時に情報提供し、入会登録を促す。旭川市においてはファミリーサポートセンター事業が充実しており、助成制度もある。加えて、北海道医師会からの利用券制度もあることから、女性医師等にとってはキャリア継続できる環境が整えられつつある。

■事業名 産前産後ケア

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

赤ちゃんとの対面で喜び、楽しいはずの出産が、出産後に情緒不安定、不眠、不安、ふさぎ込む、注意散漫、イライラ等、産後うつになっていく母親が少なからずいる。核家族化が進み、希薄な人間関係の中、母親自身の経験不足などで出産・育児が辛いものになってきている。育児支援を実施している中で、産前産後、不安でいっぱい母親への寄り添う支援の必要性を感じてきた。子育て

て経験者である支援者だからできるお手伝いによって、そうした母親への自信に寄与することを目的とする。

【事業期間】平成29年4月1日～平成30年3月31日

本年度よりスタートした、妊娠・出産により精神的に不安定になりやすい時期の家事をサポートする事業。掃除・洗濯・買い物・調理の下準備等を緊急さぼねっとの登録スタッフの中から、産前産後ケア事業に登録した方が訪問している。

スタッフ 13名
依頼件数 51件
時間数 53時間

転勤族の方や、親がいても仕事をしているなど昔のように頼れる人も少なく、スタッフは感謝されている。また、里帰り出産時の依頼もあることから今後は受け入れを考えていかなければならない状況になってきている。

■事業名 (砂川市協力事業)
～地域を知り、地域を支え、地域力をアップする～
地域力UP講座

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

砂川市民対象に、市民活動や地域活動に参加して頂くために、砂川の地域の事を知り、地域力をアップするため各地の活動事例や、活動を進めるノウハウについて学ぶ。

【事業期間】

市民活動入門講座

7月 6日 (木) 18:00～20:00

7月 13日 (木) 18:00～20:00

7月 20日 (木) 18:00～20:00

9月 6日 (水) 18:00～20:00

9月 13日 (水) 18:00～20:00



【事業内容】

第1回目

テーマ：あなたの力を必要としています！

講師：星 貢氏 (NPO法人御用聞きわらび理事長)

参加者：25名

第2回目

テーマ：もしもの時、あなたはどうしますか？～災害を知って”いざに備える“～

講師：及川太見夫氏 (オフィス及川防災プランニング)

参加者：22名

第3回目

テーマ：企業のCSRと市民の関わり
講師：竹中 英泰氏（旭川大学名誉教授）
参加者：20名

第4回目

テーマ：わがまちを自慢しよう！～あなたの身近な地域資源は何ですか？～
講師：加藤 知美氏（認定NPO法人アルテピアッツアびばい事務局チーフ）
参加者：18名

第5回目

テーマ：活動アラカルト～さまざまな活動紹介～
講師：角 一典氏（北海道教育大学旭川校教授）
参加者：23名

会場：砂川市地域交流センターゆう

■事業名 バスで行く親子体験（主催：（公財）北海道環境財団、旭川NPO
サポートセンター・里山部）
突哨山で一日森人になろう

■NPO 法人旭川NPO サポートセンター

【目的】

生き物や・材・エネルギーなど森の恵みを親子で体験し、自然環境に恵まれている旭川の地域資源を満喫する。

【事業期間】

7月23日（日）9：30～15：00

【事業内容】

1) プログラム

9：30 集合 屋内プログラム「地球の歴史を感じよう」

10：00 出発

10：30 木こりになってみよう！

12：00 昼食

12：40 倒した木からものづくり

15：00 終了・解散

講師：清水省吾さん（里山部）崎川哲一さん（樹木医）

1) 会場：旭川市市民活動交流センター&突哨山

2) 参加者：親子7組、21名



■事業名 (北海道地域活動振興協会助成事業)

超婚活セミナー「コミュニケーションセミナー&婚活交流会」

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

結婚を希望する未婚の男女を対象に、北海道医療大学看護福祉学部准教授の長谷川聡氏による異性間のコミュニケーション方法と、参加者同士の円滑な交流の仕方、立食形式での立ち居振る舞いについてレクチャーする。

【事業期間】

- ① 7月16日 (日) 17:30~19:30
- ② 7月17日 (月・祝) 10:00~13:00

【事業内容】

1) プログラム: 1日目

フランクな飲み会形式で行なう講師を囲んでのプレパーティー

2日目

- ①講師によるアイスブレイク・セミナー
- ②マナー講座
- ③ランチ交流会・名刺交換

2) 会場: 1日目 Machibar (旭川市2条通8丁目)

2日目 旭川市市民活動交流 CoCoDe

3) 参加者: 25歳~45歳の働いている独身男女 1日目19名 2日目35名

■事業名 (北海道地域活動振興協会助成事業)

親コン交流会

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

親の代理婚活の提唱者である、NPO法人全国結婚・家庭未来塾理事長の斎藤美智子氏を招き、「親がつなぐ子どもの縁!」をテーマにトークショーと質疑応答の時間を設けて、未婚の子どもを持つ両親へのアドバイスや当事者の傾向などをお話いただく。

その後の交流会で各々気になった親や当事者同士が直接話し合い、連絡先を交換する。

【事業期間】 9月23日 (土) 13:30~16:00

【事業内容】

プログラム: 第1部 講師によるトークショー~親がつなぐ子どもの縁~

講師: 斎藤美智子氏 (NPO法人全国結婚・家庭未来塾理事長)

第2部 交流会 (参加者自己紹介)

第3部 個別トークタイム (身上書交換・個別相談)

会 場：旭川市市民活動交流センターCoCoDe

参加者：20代から40代までの未婚の子どもを持つ親、および結婚を希望する未婚の男女

32名（内、紹介希望男性15人・女性7人）

9名の方が連絡先交換

■事業名 （主催：旭川ケーブルテレビ）
たいせつなハロウィン婚

■共催事業

【目的】

仮装参加できるハロウィンパーティーで、結婚したい未婚の男女がコミュニケーションをとり、より良いパートナーと出逢うための場を提供。

【事業期間】

10月28日（土）17：00～20：00

【事業内容】

4) プログラム：

- ①アイスブレイク
- ②テーマトーク
- ③お名前ビンゴ
- ④カップリング集計

5) 会 場：vitadolce（旭川市3条通8丁目 3条ビル2F）

6) 参加者：30代の働いている独身男女 男性16名 女性18名

■事業名 （北海道地域活動振興協会助成事業）
バレンタインパーティー&FPと考えるライフプラン

■NPO法人旭川NPOサポートセンター

【目的】

結婚を希望する未婚の男女を対象に、結婚式場のクイーンズK様にご協力願い、ランチをはさみながら参加者同士の交流・ファイナンシャルプランナーによるライフプランセミナーを開催し、良い出逢いの場を提供する。会場見学や披露宴の現代事情など、参加者が結婚に前向きになれる内容で構成した。

【事業期間】

2月4日（土）11：00～16：00

【事業内容】

1) プログラム

- ①アイスブレイク・自己紹介タイム

- ②お食事タイム
- ③講演「今どきの結婚アレコレ」Queenz K鎌田智代氏
- ④講演「FPと考えるライフプラン」山辺恵子氏
- ⑤ドキドキ会場探検
- ⑥フリータイム
- ⑦マッチングタイム

- 2) 料 理：クイーンズK提供のbuffet
- 3) 会 場：クイーンズK（旭川市神楽1条9丁目1-12）
- 4) 参加者：30代～40代 41名
マッチング 2組



■事業名 婚活交流会「おひとりさまびあプラザ」

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

出会いのパーティーが少ないとされる 40～50 代を対象に、平日の夜の定期的な出会いの場を提供。マリッジサポーターが企画した 40～50 代向けの婚活交流会を実施し、司会進行などをマリッジサポーターが行うなど、マリッジサポーター自身が自主的に活動できる場を創出した。

【事業期間】

- ① 12月15日（金）19:00～21:00
- ② 3月29日（金）19:00～21:00

【事業内容】

- 1) プログラム：結婚に対する意識についてのワークショップ
 - 2) 料 理：① ひがしかわワッカ食堂 ② おばちゃん食堂みなみな
 - 3) 会 場：旭川市市民活動交流センターCoCoDe
- 参加者：①16名 ② 14名

■事業名 （実施主体：福島県 事業管理者：一般社団法人ふくしま連携復興センター
受託事業者：NPO法人北海道NPOサポートセンター）
平成 29 年度福島県県外避難者への交流会事業「北海道民の今とこれからをつなぐ交流会」

■協力事業

【目的】

福島県から北海道へ避難され北海道民となられた皆様に、交流会を通じて、生活がより豊かになるための支援事業。

【事業期間】

6月17日（土）9：15～14：45

【事業内容】

第1部 自己紹介&昼食タイム

第2部 交流会

会 場：クラークホースガーデン（旭川市桜岡）

参加者：16名

■事業名

旭川市環境アドバイザー派遣事業

■協力事業

【目的】旭川市に環境アドバイザーとして登録し、環境に関わるプログラムを提供し、市民に環境保全
に対する理解を深める

【事業期間】

① 6月18日（日）14：00～15：00

② 7月11日（火）10：00～12：00

【事業内容】

1) プログラム

① 紙の話と新聞紙でエコバック作り

② 地球環境に配慮したお話しと道産材を使ったマイエコ箸作成

2) 会場

① イオン春光店

② 春光台公民館

3) 参加者

① イオンチアーズクラブ（小学生8名）

② 春光台公民館市民学級受講者 26名

■事業名

環境省 低炭素ライフスタイル構築に向けた診断促進事業（うちエコ診断）

■補助事業

【目的】家庭部門における二酸化炭素削減のために、環境省の
うちエコソフトを使用し、うちエコ診断を実施。家庭のどこか
らどの位のCO₂が排出されているかを診断する。
うちエコ診断士が家庭の状況に合わせて、省エネの方法をアド
バイスする。2～3か月後に事後調査を実施し、どの位省エネが
実践できたかを把握。

【事業期間】



10月～翌3月

【事業内容】

環境省ソフトうちエコ診断ソフトを使用して家庭で排出するエネルギーに係るCO₂量を調査する。調査結果に基づき、CO₂削減のための提案をさせて頂いた。その後2～3か月後に事後調査を実施し、実際に実施した対策により、どのくらいのCO₂削減があったかを把握する。

40件のうちエコ診断を実施し、34件の(85%)の事後調査報告書回収率。

【二酸化炭素排出量の削減効果】

診断時(事前調査結果) 216,743kg-CO₂

対策選択後(診断結果) 197,376.7379kg-CO₂

対策後(事後調査結果) 166,464.748kg-CO₂

診断時のCO₂排出量が対策後に50,278.252kg-CO₂の削減となった。

■事業名 (主催：留萌市 企画：北海道グリーンファンド)
誰でもできるエコライフ・エコセミナー事業

■協力事業

【目的】 留萌市ではCO₂削減推進のため、環境省のCOOL CHOICE事業を受託し、エコセミナー実施に付随してエコライフ推進のためのブース出展を行う。

【事業期間】

11月12日(日) 12:00～14:10

【事業内容】

お楽しみCOOL CHOICE広場にて、

- 蜜蝋キャンドルを作ろうブース運営
- 新聞紙エコバックを作ろうブース運営

- 1) 会場 留萌市中央公民館研修会議室1
- 2) 来場者 60名



■事業名 (主催：なかとんべつまちづくり協議会)
NPO法人とは?そのメリット、デメリット

■協力事業

【目的】 農林水産省の補助を受けて平成27年度から平成30年度まで農村集落活性化のための取り組みを進めてきており、補助事業が終了するまでに任意団体を法人化して、事業の具現化を目指す。

【事業期間】

10月6日(金) 18:30～20:30

【事業内容】

まちづくり協議会では木質バイオマス、移住支援、6次産業化を目指して活動しており、そのため法人格取得を視野に入れている。NPO 法人格を取得することによって、何ができるかを検討する。

- 1) 会 場 中頓別町役場会議室
- 2) 参加者 20名

■ 事業名 (①主催：北海道 ①企画運営②主催：北海道 NPO サポートセンター)
市民活動促進講座～多様でゆるやかなのびーるつながりをつくる～

■協力事業

【目的】

NPO やソーシャルビジネスの関係者またはこれからやりたいと思っている市民に、つながりを活かした組織の作り方を学んだ。

【事業期間】

- ① 11月5日(日) 12:30～16:30
- ② フォローアップ講座 1月14日(日) 13:30～15:30



【事業内容】

① 市民活動促進講座

第1部 12:30～14:00 事例発表 認定NPO 法人どんころ野外学校

講師：新野昌子氏(認定NPO 法人どんころ野外学校 事務局長)

第2部 14:00～16:30 WS「自分の持っているつながりを見つけよう」

講師：宮本 奏氏

- 1) 会場 大雪クリスタルホール
 - 2) 人数 29名
- ② フォローアップ講座
 - 1) 会場 旭川市市民活動交流センター
 - 2) 人数 15名

■ JR宗谷線車内販売(主催：旭川市・旭川物産協会)

■NPO 法人旭川NPOサポートセンター

【目的】JR宗谷線で地域の活性化を目指し、地元の特産品の車内販売を通じて、障がい者などの雇用の場の多様化やJRの利用促進、魅力アップを図る。

【事業期間】平成30年2月10日、17日、3月10日、24日

【事業内容】

J R 宗谷線の特急サロベツ 1 号 13 : 35 分発に乗車して、和寒～美深間において、特産品の販売を実施し美深で降車。復路はサロベツ 4 号 15 : 27 分発に乗車し、美深～和寒間で特産品を販売。

1) 参加団体 : 旭川 NPO サポートセンター・旭川ひだまりの会

■事業名 (Panasonic NPO サポートファンド助成事業)

NPO 法人大雪山自然学校 組織基盤強化事業における伴走支援業務の受託

■NPO 法人旭川 NPO サポートセンター

【目的】

Panasonic NPO サポートファンドの助成により、NPO 法人大雪山自然学校が組織基盤強化事業を行うにあたり、外部支援者としてコンサルティング契約を行い、組織診断や組織基盤強化メニューの設計、ファンドレイジング戦略の策定等を実施した。

人材的・経済的な理由により、豊かな自然環境を維持することが困難なことは旭岳エリアに限られた問題ではなく、大雪山自然学校が掲げるミッションの「利用者による環境保全の仕組みづくり」は、

国内で同様の課題を抱える地方の団体にとって、持続可能な組織体制の新しいモデルケースとなるという期待から、NPO サポートファンド 2 事業年度目助成も採択となり、伴走支援業務の委託も継続となった (H30 年 12 月までを予定)。



【事業期間】平成 29 年 4 月～30 年 1 月

【事業内容】

1) 組織診断の実施

H29 年 1 月～5 月にかけて、団体の基礎情報の整理やスタッフとのワークショップ、意見交換を実施。組織全体の課題分析・組織診断を行い、以下の 3 項目を主軸に組織基盤強化メニューを定めた。

- ①寄付金を募る広報力と信頼力の向上
- ②NPO 会計の能力向上
- ③スタッフが生き生きと働く現場づくり

2) 基盤強化事業における伴走支援

月 2～3 回の団体訪問を行い、基盤強化メニューのうち主に①と②についての情報提供や、事業形成・実施にあたってのサポートを行い、寄付による支援者拡大のための広報媒体の制作や、活動情報の発信強化を進めてきた。9 月には特例認定 NPO 法人格を取得し、これから本格的にファンドレイジング事業を展開していく。